

2018年3月期 第1四半期 決算概要



2017年8月9日
日揮株式会社

財務部長の広瀬です。

これから、2018年3月期第1四半期の決算概要についてご説明いたします。

まず、本資料3ページ目の連結損益計算書及び連結包括利益計算書からご説明いたします。

- 1 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
- 2 セグメント情報
- 3 連結貸借対照表
- 4 受注の状況

1. 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 (決算短信 P.6~7)



【単位：億円】

	2016/6	2017/6	前年同期比	通期予想値
売上高	1,633	1,530	△ 103	6,800
売上総利益	127	115	△ 12	480
利益率	7.8%	7.5%	△ 0.3pt	7.1%
営業利益	70	62	△ 8	260
経常利益	61	90	+28	300
親会社株主に帰属する 四半期純利益	33	55	+22	210
四半期純利益	33	56	+22	
その他の包括利益	△ 35	3	+38	
四半期包括利益	△ 1	60	+61	

3

2018年3月期第1四半期の売上高は1,530億円、売上総利益は115億円、営業利益は62億円、経常利益は90億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は55億円となり、前年同期に比べ、減収増益という結果でした。

売上高、営業利益は減少しましたが、営業外の為替で前年度が33億円の差損だったのに対し、今年度は5億円の差益だったことから、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は増加しました。

5月に発表いたしました通期予想値達成に向けて順調にスタートしたと言えます。

また、6月末の為替レートは112円/ドルであり、110円/ドルの想定為替レートよりも円安でしたが、その後やや円高で推移しており、今後の為替に関しても不透明感が大きいいため、想定為替レートは110円/ドルベースで変更いたしません。

尚、1円の為替感応度は売上高40億円、粗利益7億円、営業外で5億円、経常利益では粗利益および営業外での感応度を合計した12億円程度となります。

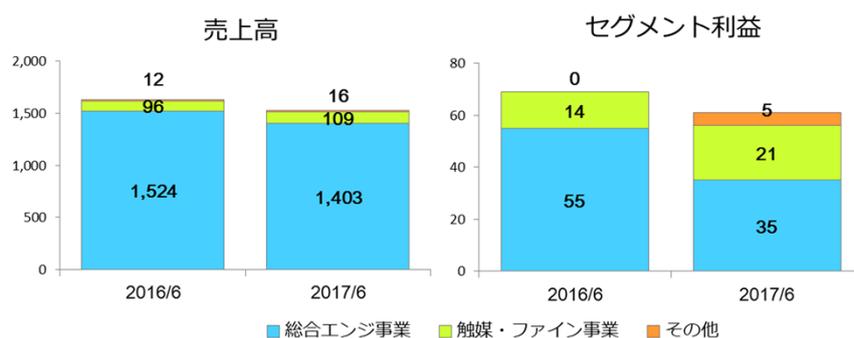
2. セグメント情報 (決算短信 P.8)



報告セグメントごとの売上高及び利益

【単位：億円】

	売上高		セグメント利益	
	2016/6	2017/6	2016/6	2017/6
総合エンジニアリング事業	1,524	1,403	55	35
触媒・ファイン事業	96	109	14	21
その他	12	16	0	5
合計	1,633	1,530	70	62



4

4ページ目はセグメント情報です。

総合エンジニアリング事業は減収減益となりました。

これは、イクシスLNGプロジェクト、ヤマルLNGプロジェクト等の大型プロジェクトがピークを超え、前年同期に比べて減収、減益になったことが主要因です。

一方、触媒・ファイン事業は前年同期に比べて増収増益となっております。

これは、機能性塗料を初めとしたファイン事業が引き続き好調だったこと等によるものです。

3. 連結貸借対照表 (決算短信 P.4~5)



【単位：億円】

	2017/3	2017/6	増減		
流動資産	4,808	4,809	*1 +0	*1 現金預金/有価証券	+210
固定資産	1,654	1,637	△ 16	完成工事未収入金	△244
資産合計	6,462	6,447	△ 15	未成工事支出金	+28
流動負債	2,264	2,265	*2 +0	*2 未成工事受入金	+20
固定負債	365	365	△ 0	工事損失引当金	△52
負債合計	2,630	2,630	+0		
純資産	3,832	3,816	*3 △ 15	*3 親会社株主に帰属する四半期純利益	+55
負債純資産合計	6,462	6,447	△ 15	配当金支払	△75
				その他の包括利益累計額	+3
					5

次に5ページ目連結貸借対照表です。

流動資産は、3月とほぼ同額でした。

その中では、現金預金が210億円増の2,066億円となった一方、完成工事未収入金は244億円減少しております。

前年度以前に受注した案件の工事債権の回収が順調に進んでおります。

尚、貸借対照表に計上した以外に、ジョイント・ベンチャー口座に当社持分として1,253億円あります。

固定資産は16億円減の1,637億円でした。

この3ヵ月間では大きな投融資はありませんでした。

資産合計は6,447億円で3月末時点に比べて15億円の減少です。

流動負債は、3月末時点とほぼ同額です。

未成工事受入金が20億円増加した一方、工事損失引当金は52億円減少しております。

昨年度損失を計上したプロジェクトはその後混乱なく順調に推移しております。

固定負債は3月末時点から変動なし、負債合計も2,630億円で3月末時点から変動ありません。

純資産は15億円減の3,816億円です。

親会社株主に帰属する四半期純利益が55億円増加、配当金支払いで75億円減少が変動の主な理由です。

4. 受注の状況 (決算短信 P.9)



i) 当期受注高の状況

【単位：億円】

	第1四半期実績	通期予想値
海外	2,175	6,000
国内	479	1,500
合計	2,655	7,500

6

次に受注についてご説明いたします。

6月末までの連結受注高は2,655億円となりました。

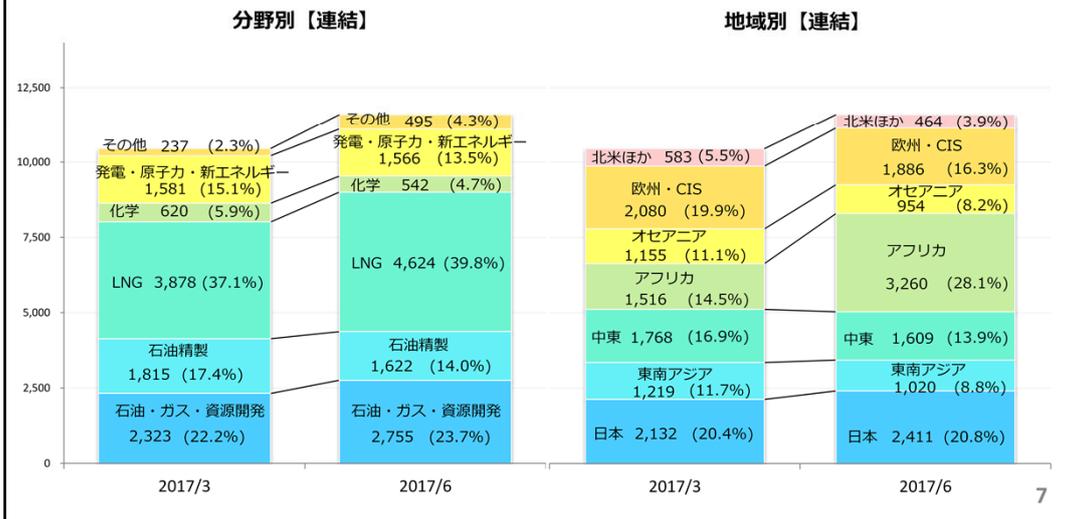
通期予想値は7,500億円ですから、既に予想値の1/3強の受注を確保したことになり、順調なスタートと言えると思います。

この3か月間の主な受注PJは、海外では、モザンビークのFLNGプロジェクト、アルジェリアの原油集積・処理設備建設プロジェクト等、国内では、石炭ガス化複合発電実証試験発電所向けCO₂分離回収設備等です。

ii) 受注残高

【単位：億円】

2017/3	2017/6	増減
10,456	11,608	+1,151



最後に受注残高の状況です。

6月末の連結受注残高は1兆1,608億円となり、3月末時点より1,151億円増加しました。

分野別ではモザンビークのFLNGプロジェクトの受注により、LNG分野が3月末時点に比べて746億円増の4,624億円、石油・ガス・資源開発分野がアルジェリアの原油集積・処理設備建設プロジェクトの受注により432億円増の2,755億円といずれも増加しました。

また、地域別ではモザンビークのFLNGプロジェクト、アルジェリアの原油集積・処理設備建設プロジェクトの受注により、アフリカが3月末時点に比べて1,744億円と大幅に増加し、残高も3,260億円と地域別で最大となりました。

以上で2018年3月期第1四半期の決算概要のご説明を終了いたします。

ご清聴ありがとうございました。

参考資料

参考（地域別売上高、受注高）



売上高

受注高

【単位：億円】

	2016/06	2017/06		2016/06	2017/06
日本	168 (10.3%)	281 (18.4%)	日本	179 (42.4%)	479 (18.1%)
東南アジア	244 (15.0%)	200 (13.1%)	東南アジア	134 (31.9%)	41 (1.6%)
オセアニア	367 (22.5%)	353 (23.1%)	オセアニア	18 (4.5%)	172 (6.5%)
アフリカ	9 (0.6%)	47 (3.1%)	アフリカ	18 (4.4%)	1,788 (67.4%)
中東	253 (15.5%)	316 (20.7%)	中東	6 (1.5%)	145 (5.5%)
欧州・CIS	378 (23.2%)	183 (12.0%)	欧州・CIS	49 (11.8%)	7 (0.3%)
北米ほか	211 (12.9%)	148 (9.6%)	北米ほか	14 (3.5%)	19 (0.6%)
合計	1,633 (100.0%)	1,530 (100.0%)	合計	422 (100.0%)	2,655 (100.0%)

将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
日揮株式会社 経営統括本部 広報・IR部
Tel: 045-682-8026 Fax: 045-682-1112
E-mail: ir@jgc.com